

～京都の伝統工芸を後世へ伝えていくための新たな取り組み～
京都の若手職人の作品による
「京ものセレクションショップ」「京都オークション」実施のお知らせ

京都府では、京都の伝統工芸の技術を継承する優秀な若手職人達を応援するため、新たな取り組みをギャラリーカフェ「京都茶寮」(JR京都駅ビル2階)にてスタートします。

12月21日(土)～1月7日(火)には、京都府から「京もの認定工芸士」の称号を受けた20人の若手職人が作品を出展する「京ものセレクションショップ in 京都茶寮」を開催します。同イベントは日々技術を磨く「京もの認定工芸士」に発表と販売の機会を与えることを目的としています。西陣織のブックカバーや、京友禅のペーパーウェイトなど、現代の生活様式にマッチする工芸品が会場を彩ります。また、京象嵌、京指物などの職人による制作実演も一部の日程で行います。

さらに、1月9日(木)～19日(日)には、新たに若手職人トライアル事業として、京もの工芸品「京都オークション」を開催します。これは、悠久の歴史の中で磨き上げられた「匠の技」を受け継ぐ京都の若手職人や作家から公募し、一定の基準をクリアした作品を、入札形式のオークションにより販売するものです。同事業は、京都での開催に先駆けて10月に東京・日本橋でも実施し、来場者からは京都の工芸技術の高さに好評価を得ることができました。

京都府として若手職人を重点的に応援する取り組みは、昨年(平成24年)度から本格化しました。それまでも京都の伝統工芸の各団体が個別に同様の取り組みを行っていましたが、それらを府が束ねてプラットフォームを形成し、新しいものづくり、販路開拓、独立開業のトータルサポートをすることで、伝統産業の活性化を推し進めようとしているものです。

なお、今回の2つの取り組みは、「京都茶寮」の協力を得て実現に至りました。伝統工芸に対する消費者への認知拡大だけでなく、職人とバイヤーをつなげることで、新たな市場の創出を図ることを目的としています。京都が誇る伝統工芸の分野で活躍をする職人等が生み出す、現代の生活様式にふさわしい工芸品を一堂に集め、"京都の伝統美"を思う存分お楽しみいただけます。

今後も京都の伝統工芸の未来を担う若手職人のため、京都府では様々な取り組みを行ってまいります。ぜひご注目下さいよう、お願い申し上げます。

開催概要

※作品詳細は、2P目の参考資料をご参照ください

| | 京ものセレクションショップ in 京都茶寮 | 京もの工芸品「京都オークション」 |
|----|--|---------------------------|
| 時期 | 販売/平成25年12月21日(土) ～平成26年1月7日(火) | 展示、入札/平成26年1月9日(木)～19日(日) |
| 時間 | 10:00～19:00 (※12月31日～1月3日は変更あり) | |
| 場所 | ギャラリーカフェ「京都茶寮」(JR京都駅ビル2階)    | |
| 資格 | 京もの認定工芸士 | 京都の伝統工芸分野で活躍する若手職人等 |
| 形式 | 展示、販売、制作実演 | 札入れ(サイレント)オークション |
| 価格 | ①逸品/1万円～70万円前後 ②作品/1,000～3,000円程度 | 最低入札価格/数千円より ※各出品者が設定 |

京もの工芸品「京都オークション」事業では、昨年に引き続き幅広い世代の職人を対象とする公開オークションも実施します。

時期：平成26年3月18日(火)
展示：平成26年3月13日(木)～17日(月)
場所：京都伝統工芸館
(京都市中京区烏丸三条上ル)



昨年の公開オークションの様子

■京もの認定工芸士とは？

1. 京都府知事指定「京もの指定工芸品」を製造する技術を有し、現にその製造に従事していること
2. 京もの指定工芸品の製造に5年以上携わっていること
3. 応募時の年齢が満40歳未満であること
4. 京もの指定工芸品の製造に係わる伝統的な技術・技法の維持、向上及び継承、産地振興に意欲を持っていること

《本件に関するお問い合わせ》

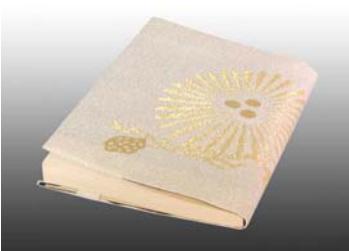
京都府商工労働観光部染織・工芸課

京都府広報代行 (株)オズマピアール内

担当：角森 つのもり 岸田 TEL:075-414-4858 FAX:075-414-4870

担当：阿部 おぎの 狹布 TEL:03-4531-0225 FAX:03-3265-5058

◆「京ものセレクションショップ in 京都茶寮」作品(一例)※全て税込表示



西陣織「ブックカバー」

山下賢二(意匠苑山下)

販売価格 : 3,675円

京都が育んできた高級絹織物で多品種少量生産方式を基盤とした先染めの紋織物である西陣織を素材で使用。



竹セカンドバッグ

細川秀章(竹工房喜節)

販売価格 : 49,350円

竹の生産地として知られる京都ならではの作品。素材の持ち味を活かし着物にも洋服にも合わせられる逸品。



京友禅「ペーパーウェイト『うず巻き』」

上仲昭浩(二鶴工房)

販売価格 : 3,360円

あらゆる模様を着物や帯に華麗に染める技法で知られる京友禅。その技術を活かし、銀箔と金砂子で模様を描いた裂地をガラスで加工した作品。



金属工芸「純金製根付」

伊庭拓也

販売価格 : 3,500円

地肌や造形の美しさ、緻密な装飾などで高い価値を有する京都の金属製品。その技術と京くみひもの技術を駆使した根付でストラップとして使える一品。



京象嵌「唐草すかしブローチペンダント」

喜多由寛(中嶋象嵌)

販売価格 : 36,750円

金属の生地に金銀をはめ込み、色彩や隆起で模様を表現する象嵌技法を活かしたペンダント。伝統的な唐草柄を糸鋸ですかし模様を加工した作品。



丹後藤布帯「ダイヤモンドカット文」

小石原充保(遊絲舎)

販売価格 : 735,000円

天然の藤づるから取り出した纖維を紡いで織り上げている丹後藤布。丹後の山間部で今も受け継がれている貴重な技術で織り上げられた帶。

◆「京都オークション」出品作品(一例) ※全て税込表示



唐草飾り漆塗り弁当箱

島本恵未

最低入札価格 : 25,000円

木地溜塗り、一閑塗り及び蒔絵の技法を駆使して作ったお弁当箱。蓋を閉めた時とあけた時の印象の違いを楽しんでもらえる作品。



香合「ひな祭り」

関敬介(関仏壇製作所)

最低入札価格 : 25,000円

帽子と帯の部分にはアワビの薄貝を使用。お内裏様とお雛様は漆上げの技法で立体的に表現し、服は色漆を用いてカラフルな印象に仕上げた作品。



雪華蒔絵小函

水内倫子

最低入札価格 : 20,000円

白漆に銀粉をまいた地に雪華模様を書き、金蒔絵を施した小函。アクセサリーボックスや菓子入れとしても使用可能。女性職人らしい繊細な作品。



蝶帯留

小林達也(小林鎔金具工房)

最低入札価格 : 15,000円

金属工芸の彫金技術を使って作られた作品。銅板に麻文様を透かし彫りし、その上に蝶を配した、お洒落な帯留め。



杣拭漆皿—燃—

岩井雄介(山乃井木工房)

最低入札価格 : 20,000円

波のように見える柾目(もくめ)が入った杣の木皿。木工と拭き漆の技術を駆使し、使うごとに親しみが増す。



若葉(ネックレス、ブローチ、ピアス3点セット)

岡谷畠友美

最低入札価格 : 9,800円

手彫りの技術で作った木製のアクセサリー。着色は一切せず、木の肌・木目は天然の模様を生かした一点もの。